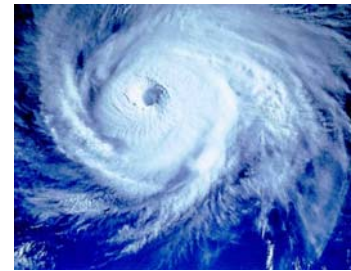


## 台風シーズンへの警戒—香港水域

### イントロダクション

苛酷な気象が船舶や乗組員に対し挑戦し続けています。船主、代理店や傭船者は熱帯低気圧の接近中に警戒措置をとる必要があることを本船の船長に注意すべきでしょう。このサーキュラーは台風において香港にて実施中の特定の係留規則に関する情報を提供するものですが、いかなる場所においても台風通過中、適切な係留に対する相応の配慮がなされるべきです。類似の要件が香港以外の港でも適用されるかもしれない、船主は彼らの船舶がこうした港に寄港するならば、追加要件を十分に確認するように通知されることもあるでしょう。



### 要件

船長、船主、代理店及びその他の船舶を管理するものはHong Kong SARの法のcap. 313, the Shipping and Port Control OrdinanceのSection 61/62の下で、港内で船舶の安全運航、あるいはこの条例の下でDirectorが下す命令するその他関係することについて、director of Marineの命令に対応する義務があります。全ての公営クラスA及びクラスBの係留設備は以下を除いて台風の間でも使用は可能です。

- A係留点—A17,A29,A35,A39,A43,A46
- B係留点—B1,B2,B3,B4

公営クラスA及びクラスBの係留設備は事前通告なく変更することがあります。

最新情報はVessel Traffic Centre(Tel. +852-233-7808, telex 63607 MDVTS, Facsimile +852-858-6646)より入手可能です。

### 勧告

- 公営係留設備に係留する船舶の船長は船体の向きを替えやすい傾向を押さえるため、自らの判断で錨を足下に投錨したほうがいいでしょう。これは係留の効果を損なうものであってはならず、又、通常の気象条件下では投錨すべきではありません。
- 船長は香港水域の全ての船舶は船舶が位置する場所のVHFセクターに該当するVHF無線チャンネル、あるいはVessel Traffic Centre(call sign “Mardep”)によって特定されるその他のVHFチャンネルをCentreからその義務が解除されるまで聴取しつづけねばならないことに注意すべきでしょう。Centreは熱帯低気圧の警報が発令中、熱帯低気圧情報を随時、放送します。船長は現地のラジオ放送での気象注意報を聴取すべきでしょう。
- 熱帯低気圧警報が発令中の本船上に十分な人員が確保していない船舶が見受けられます。本船の船長、船主、代理店及び傭船者はそれゆえに以下のthe Shipping and Port ControlのRegulation 26(1)に注目してください。

—香港水域内にある船舶は、その環境に応じて船舶の安全を確保するため当然必要とされる全ての義務を遂行する資格と能力があるとDirectorが認めえる乗組員を常時、本船上に確保しなくてはならない。—

For more information regarding the Gard loss prevention products, please contact:  
Vice President Harald Fotland, ph: +47 55 17 40 67 or email [harald.fotland@gard.no](mailto:harald.fotland@gard.no), or  
Loss Prevention Manager Trygve C Nøkleby, ph.: +47 55 17 41 11 or email [trygve.nokleby@gard.no](mailto:trygve.nokleby@gard.no).